阪南大学教学マネジメント基本方針

本学は、建学の精神、教育理念及びミッションステートメントに基づき、学長のリーダーシップの下、学位プログラム毎に、教育目的の達成と社会に貢献できる人材の育成を図るため、以下の教学マネジメント方針のもと、学修者本位の教育の質保証を全学的に展開します。

１．学修者本位の教育の推進

1） ３つの方針に基づく教育課程の編成

アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの ３ つの方針に基づき、教育課程全体の整合性と体系性を確保し、組織的に運用します。明確な到達目標で構成される個々の授業科目が学位プログラムを支える構造となるよう、体系的・組織的に教育課程を編成します。

2） 学修成果・教育成果の把握と可視化

学生の学修成果を適切に評価するための基準・指標を整備し、教育の透明性と説明責任を果たします。

3） FD・SD および教学 IR の推進

教職員の教育・業務能力の向上を図るとともに、教学 IR（Institutional Research）を活用して、教育の実態に即した改善と意思決定を行います。

２．情報公表

学修者本位の観点から教育を充実させるため、学修成果・教育成果を積極的に公表していきます。また、地域社会や産業界など社会からの評価を通じて教育の質向上を図るため、積極的に情報を公表し、社会への説明責任を果たしていきます。

３．教学マネジメントを支える支援体制

学修支援、キャリア支援、生活支援など総合的な学生支援体制を整備し、学修者本位の教育の質保証を支えます。また、教職協働のもと、組織的かつ継続的に教学マネジメントを推進し、教育活動の改善に努めます。